報道関係者各位

2026年11月27日
一般社団法人LINK-J

LINK-J、英国のフランシス・クリック研究所と ライフサイエンス分野の連携に関するMOUを締結 ～日英の研究者交流・起業活動を促進し、イノベーション創出を目指す～

一般社団法人 LINK-J（本社：東京都中央区、理事長：岡野栄之、以下「LINK-J」）は、英国の生物医学研究機関 The Francis Crick Institute と、ライフサイエンス分野のイノベーション推進と日本・英国における起業活動および連携の促進を目的とする MOU（提携に関する覚書）を 2026 年 11 月に締結しました。



LINK-J 事務局長 林 幾雄（左）、The Francis Crick Institute　Chief Business Officer　Stephen Mayhew 氏（右）

The Francis Crick Institute は、英国・ロンドン中心部に位置する、欧州最大規模の生物医学（バイオメディカル）の基礎研究機関で、生命や疾患の仕組みの解明に向けた分野横断的な生物医学研究を推進しています。学術界・バイオテック・産業界をつなぐ国際的な協働ハブとして、各国の製薬企業、バイオベンチャー、学術機関との戦略的パートナーシップを推進しています。一方、LINK-J は、国内外に広がる産官学のネットワークを活かし、研究者、企業、スタートアップ、投資家など多様なプレイヤーがつながるライフサイエンス・エコシステムの形成と、イノベーション創出の支援に取り組んでいます。
これまで東京・日本橋でのセミナーなどを通じて、The Francis Crick Institute と日本のライフサイエンス関係者の交流が進められてきました。本 MOU を機に、双方の知見やネットワークを生かした情報交換やイベントを通じて、日英の研究者や関連企業の交流・協業機会の拡大を目指します。
なお、今般の提携について The Francis Crick Institute の Chief Business Officer である Stephen Mayhew 氏は、次のように述べています。「LINK-J との連携を通じて、英国のライフサイエンス分野と、LINK-J が有する日本のライフサイエンス関連企業の幅広いネットワークをつなぐ機会を得られることを、大変嬉しく思います。本 MOU を通じて、日英の研究者や企業の交流を促進し、新たな研究協力やイノベーションにつながる機会を創出していくことを期待しています。」また、LINK-J 事務局長林 幾雄は、「世界をリードする生物医学研究機関である The Francis Crick Institute との MOU 締結を大変嬉しく思います。双方の知見とネットワークを生かし、日英の研究者や企業の交流・協業を支援するとともに、ライフサイエンス分野における新たなイノベーションの創出に貢献してまいります。」と述べています。

■関連する取り組み

2026 年 11 月 20 日（金）には、ロンドンで開催された London Life Sciences Week の期間中に、The Francis Crick Institute にて LINK-J 主催のネットワーキングレセプション「LINK-J Japan Night @London 2026」を開催し、日英のライフサイエンス関係者が交流する機会となりました。





■The Francis Crick Institute（フランシス・クリック研究所）について

英国ロンドンに拠点を置く生物医学研究機関。英国医学研究会議（MRC）、英国がん研究機構（Cancer Research UK）、ウェルカム（Wellcome）、ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン（UCL）、インペリアル・カレッジ・ロンドン、キングス・カレッジ・ロンドンの 6 機関を設立パートナーとして設立されました。生命現象や疾患の根底にある仕組みの解明を目指し、さまざまな研究分野の専門家が連携して、学際的な基礎研究を推進しています。（https://www.crick.ac.uk/）

■一般社団法人 LINK-J について

LINK-J は、2016 年 3 月に三井不動産と産学の有志が中心となって設立した一般社団法人で、2026 年 3 月には設立 10 周年という節目を迎えました。医薬関連企業が集積する東京・日本橋エリアを本拠点に、日本全国、さらには世界へと連携を広げながら、産官学連携によるライフサイエンス領域でのオープンイノベーションを促進し、新産業創造の支援に取り組んでいます。「コミュニティの形成」、「イノベーション支援」、「トレンド発信の強化」を活動の軸に、専門性の高いコミュニティの創出や、医学をはじめ、理学や工学、ICT や人工知能といった新たなテクノロジーなど、あらゆる科学の複合領域であるライフサイエンス領域において、分野を超えた内外の人的交流・技術交流を促進していきます。
（https://www.link-j.org/）